

シネマティック・アーキテクチャ東京 presents

CINEMATIC ARCHITECTURE TOKYO

cinematicarchitecturetokyo.com

VISITING WORKSHOP:
For the Sake of Any-
one Who We Might
not Have Seen Yet ...
SEASON 02

高岡や富山、北陸が舞台の作品の”描かれた女性たち”
から生き方や役割を学び、まちづくりに生かす試み

2017年 7月

15日 (土)
16日 (日)

*2日間のご参加も可能です

会場：

高岡市男女平等推進センター

ウイング・ウイング高岡 6階 (富山県高岡市末広町 1-7/高岡駅前)

映画・建築・アート・文学・まちづくりを横断するユニークなワークショップ

主催：

シネマティック・アーキテクチャ東京 (CAT)

後援：

富山県 / 高岡市教育委員会

協力：

NPO 法人 N プロジェクトひと・みち・まち

NPO 法人 日本都市計画家協会

ワークショップ
きつと、会うたこともない、
誰かのため (に)
シーズン2

高岡、富山、北陸が描かれた作品の女性像や女性の生き方、役割から、まちのビジョンやまちづくりのヒントをさぐるこころみ

ワークショップシーズン2

高岡を中心とする富山や北陸では、その地を舞台にした映画・アニメ・マンガ・小説など驚くほど多くの文芸作品が生み出されてきました。これらの（いわゆるサブカル）メディアで“描かれた女性たち”に注目し、その地の女性像や生き方、物語での役割などを抽出し、みんなで考え、語り合い、未来のまちのビジョンや、まちづくりのヒントをさぐるワークショップです。映像・建築・文学・サブカル・アートにご興味ある方はどなたでもご参加可能。簡単な作品（平面や立体）を作りますが、専門知識やクリエイティブ・スキルは必要ありません。ご好評につき、2016年秋に続く2回目の開催です。

日時

7月15日(土)

セッション1: WORKSHOP 13:00~15:00 (終了後、17:00頃より別会場にて懇親会/有志の方のみ)

7月16日(日)

セッション2: WORKSHOP 13:00~15:00

セッション3: DISCUSSION「まとめ+できた作品から皆でまちづくりのヒントをさぐる」15:00~17:00

*全セッション、または1セッションでもご参加可能です。

*両日とも、会場は10時よりオープンしていますので作業可能です。スタッフが在駐しており、随時制作方法を説明します。

会場

高岡市男女平等推進センター (ウイング・ウイング高岡 6F) 富山県高岡市末広町 1-7 (高岡駅前)

参加費

(一般) 1000円 (学生、フリー、および未就業者の方) 500円 *この料金で全セッション参加可能です

参加方法

氏名、所属、連絡先を記入のうえ、事前にメールにてワークショップ事務局

(info@cinematicarchitecturetokyo.com) までご予約下さい。

*下記の参考作品例リストをご参考に、予め1点以上の作品を選んだ上でご参加して頂くことをお勧めしています。リストにない作品でもOK。詳しくは下記をご覧ください：

<http://cinematicarchitecturetokyo.com/ja/news/news170715.html>

*高校生以上どなたでもご参加可能です。(中学生の方はご相談下さい)

*市外、県外、北陸以外の方、グループでもご参加も歓迎します。

*ボランティア・スタッフを募集しています。(シネマティック・アーキテクチャの手法や魅力に企画段階より接していただけます)

* English speakers are welcomed. Please have a look at our English website (英語できる方もご参加できます)：

<http://cinematicarchitecturetokyo.com/en/news/news170715.html>

* ご質問も気軽にどうぞ。

参考作品例：

映画『8月のクリスマス』『DRIVE ドライブ』『アオハライド』『キトキト!』『ほしのふるまち』『螢川』『透光の樹』『人生の約束』『blue』『死に行く妻との旅路』

『ONE 一つになりたい』『RAILWAYS 愛を伝えられない大人たちへ』『すず』『歌謡曲だよ、人生は』『赤い橋の下のぬるい水』『瀧の白糸』ほか

アニメ『おおかみこどもの雪と雨』『true tears』ほか

文学『青桐』『谷間の女たち』『鶴のいた庭』『七夕の町』『風の盆恋歌』『夜の隅のアトリエ』『義血侠血』ほか

マンガ『月影ベイベ』『まんが道』『ほしのふるまち』『鱗粉薬』ほか

*参照する作品は、参加者の方が各自お選び下さい。上記リスト以外でも構いません。一部でも高岡、富山、北陸が描かれているものも対象になります。

*上記リスト以外にも作品があります。詳しくは下記をご覧ください：

<http://cinematicarchitecturetokyo.com/ja/news/news170715.html>



*「きつと、会ったこともない、誰かのため」：

高岡市西藤平蔵の旧家をモデルにした木崎さと子による小説『青桐』（1984年第92回芥川賞受賞作品）より

主催：

シネマティック・アーキテクチャ東京 (CAT)

後援：

富山県 / 高岡市教育委員会

協力：

NPO 法人 N プロジェクトひと・みち・まち

NPO 法人 日本都市計画家協会

きつと、会ったこともない、誰かのため (に)